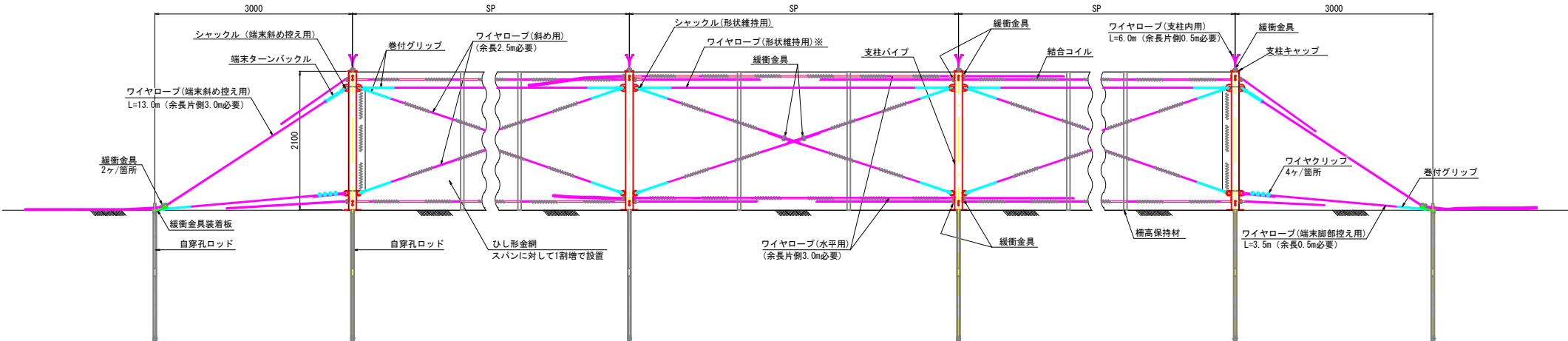


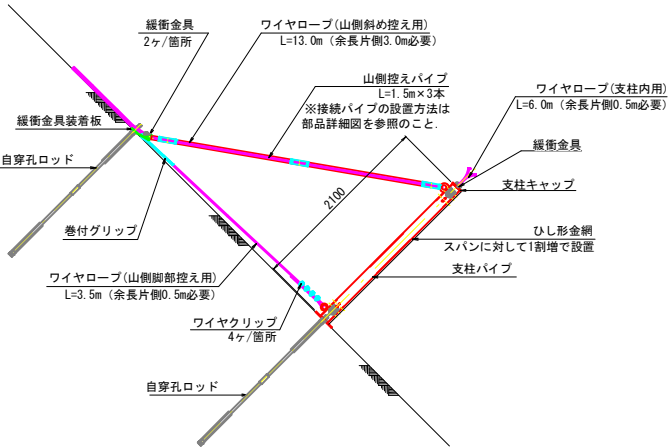
ARCフェンス一般構造図 S=1/30
(ARC100 柵高2.0m)

正面図



側面図

(山側) (谷側)



使用材料表

名 称	規 格
支柱パイプ	STK400 φ114.3 t=4.5 HDZ55
支柱キャップ	SS400 φ130 t=9.0 HDZ55
柱脚プレート	SS400 250×250×9 HDZ55
フック付ナット(柱脚)	S45C R29ローブネジ HDZ35
丸座金	SS400 φ100 t=12 HDZ55
ナット	FCAD1000-S R29ローブネジ HDZ35
ワイヤロープ	SWRH 3×7 G/0 φ12
緩衝金具	S25C SS490 φ12バラレル HDZ35 HDZ55
山側控えパイプ	STK400 φ42.7 t=2.3 HDZ40
接続パイプ	STK400 φ48.6 t=2.3 HDZ40
緩衝金具装着板	SS400 t=6.0 HDZ55
ワイヤクリップ	SS400相当 φ12用 HDZ35
巻付グリップ	SWRH 3×7 G/0 φ12用
シャックル(形状維持用)	S25C相当 呼びφ14 HDZ55
シャックル(端末斜め控え用)	S45C 呼びφ5/8 HDZ55
端末ターンバックル	SS400 枠式(両オーフ)呼びφ16 HDZ35
ひし形金網	Z-GS7 φ4.0-φ50×50
結合コイル	SWMG5-7 φ4.0-φ40×400
柵高保持材	SS400 L=50×50×4 HDZ45
自穿孔ロッド	SAE1541 φ28.5(中空φ14.5) HDZ55
カップラー	FCAD1000-S R29ローブネジ HDZ35
チップ付きビット	S45C R29ローブネジ

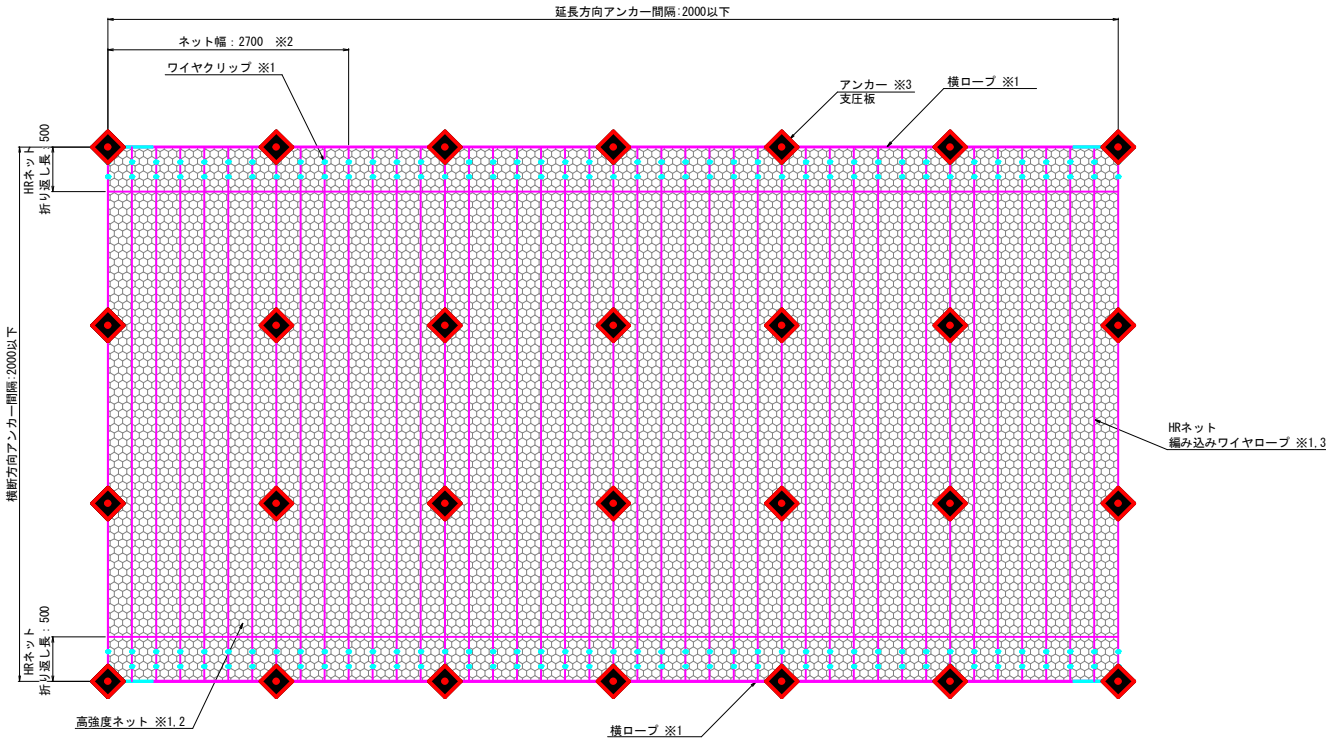
ロープ長・結合コイル・柵高保持材数量表

支柱間隔 (SP)	ワイヤロープ(水平用)		ワイヤロープ(斜め用)		柵高保持材(本)
	ロープ長(m)	結合コイル(個)	ロープ長(m)	結合コイル(個)	
5.0m	11.5×4本	7×2ヶ所	5.3×4本	7×2ヶ所	1
6.0m	12.5×4本	8×2ヶ所	5.8×4本	8×2ヶ所	1
7.0m	13.5×4本	9×2ヶ所	6.3×4本	9×2ヶ所	1
8.0m	14.5×4本	11×2ヶ所	6.8×4本	11×2ヶ所	2
9.0m	15.5×4本	12×2ヶ所	7.3×4本	12×2ヶ所	2
10.0m	16.5×4本	13×2ヶ所	7.8×4本	13×2ヶ所	2

※ワイヤロープ(形状維持用)は、支柱頭部間隔に応じて切断すること。

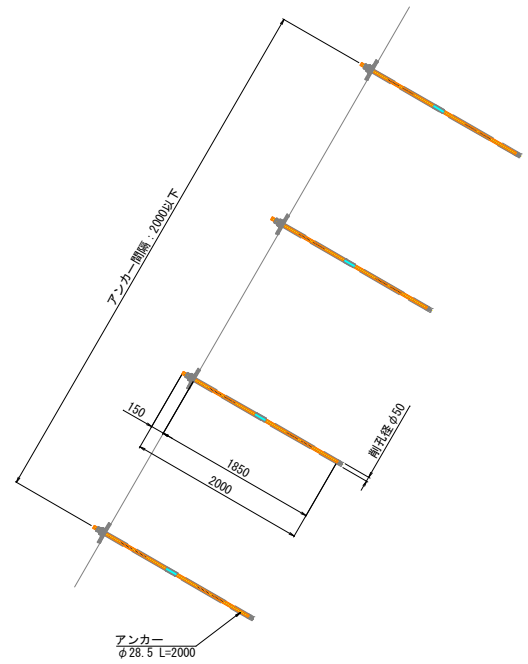
年 度	令 和 4 年 度
路 線 名	山下通線
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図 面 名	ARCフェンス一般構造図
縮 尺	図 示 図面番号 業の内 号
設計年月	令 和 4 年 10 月
設 計 者	バーム測量設計株式会社
	網 走 市 役 所

ネット正面図



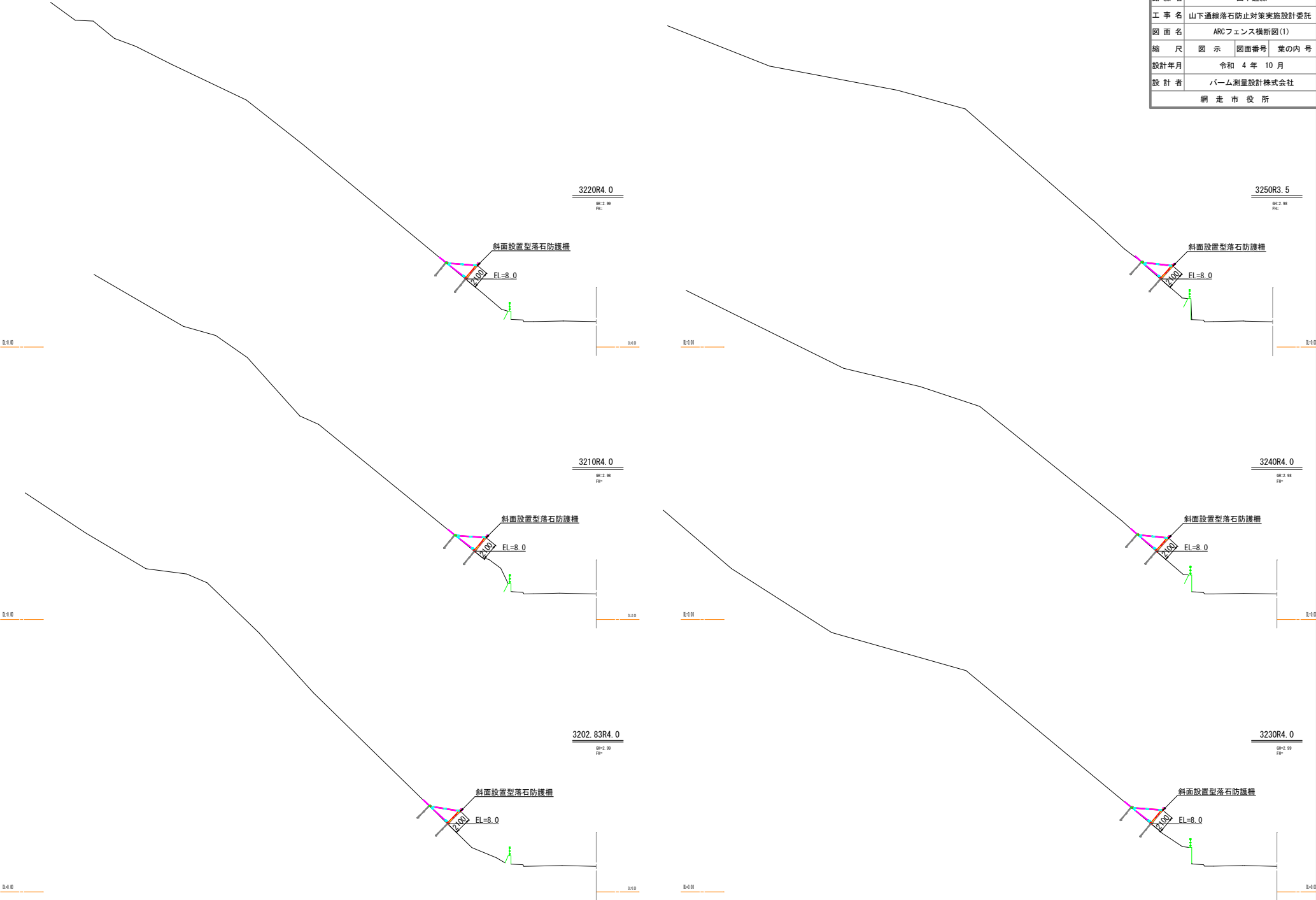
※1 ネットは横ロープで折り返し、重なった編み込みワイヤロープ同士をワイヤクリップ2個で定着する。
※2 ネット同士の連結は連結金具を用いる。ただし、斜めにラップする場合はレーシングワイヤを用いる。
※3 アンカー間隔は延長方向に2m以下、横断方向に2m以下を基本とし、アンカー支圧版は編み込みワイヤロープに接触するように配置する。

ネット断面図

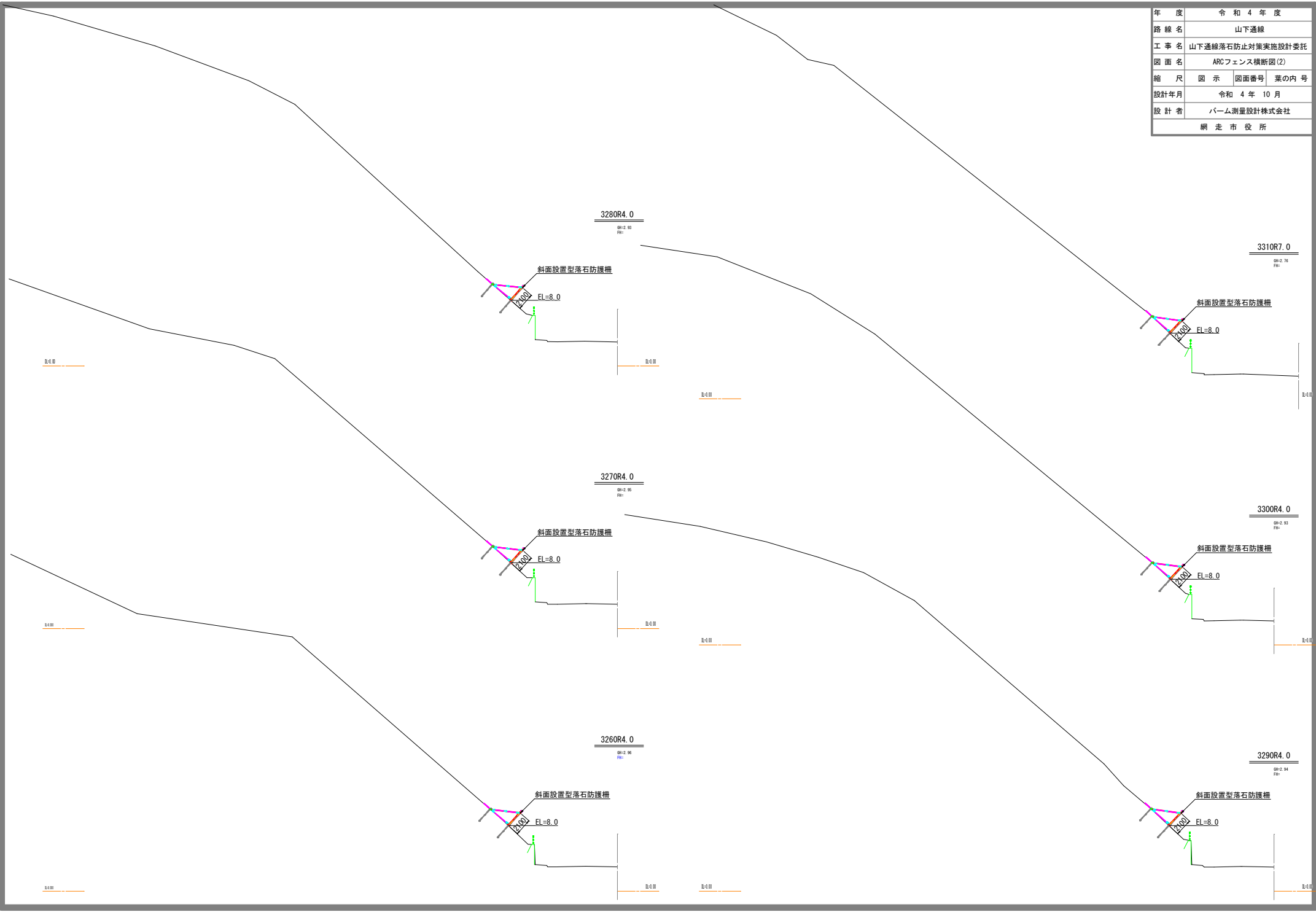


年 度	令 和 4 年 度
路 線 名	山下通線
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図 面 名	マクロネットHR一般構造図
縮 尺	図 示 図面番号 葉の内 号
設計年月	令 和 4 年 10 月
設 計 者	バーム測量設計株式会社
	網 走 市 役 所

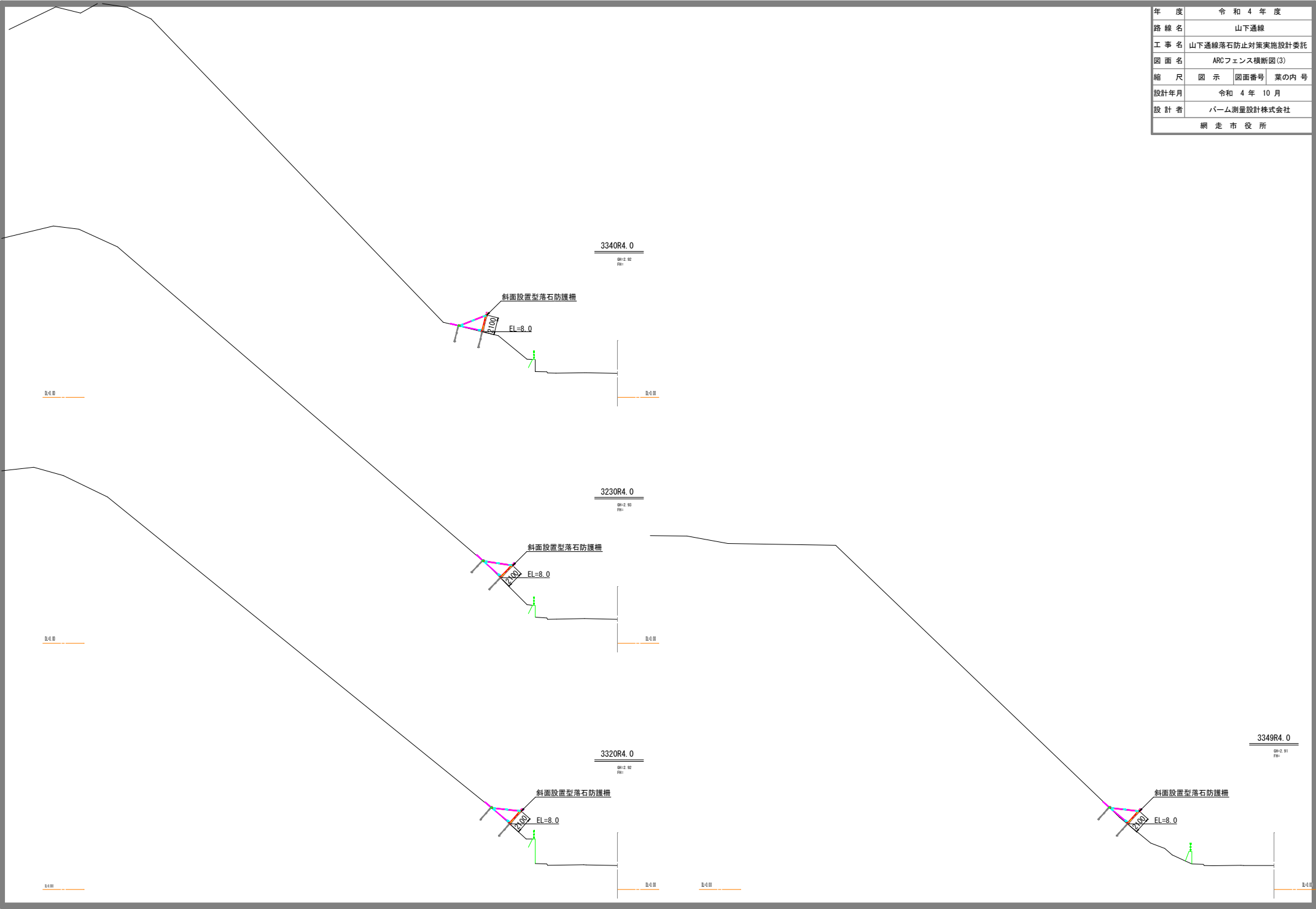
年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	ARCフェンス横断面図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	業の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		



年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	ARCフェンス横断図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	業の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		

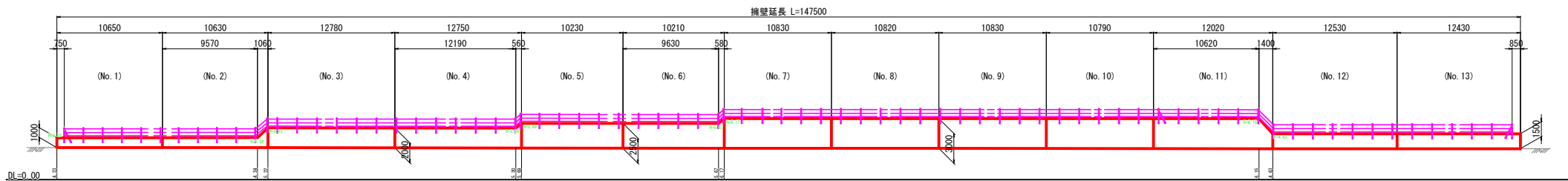


年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	ARCフェンス横断面図(3)		
縮 尺	図 示	図面番号	業の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		

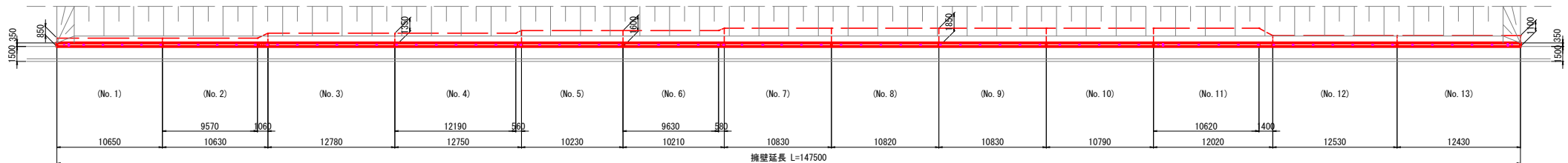


擁壁工一般図

正面図 S=1:200

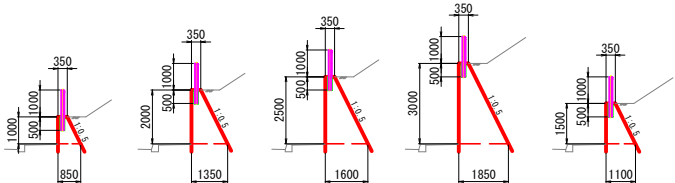


平面図 S=1:200



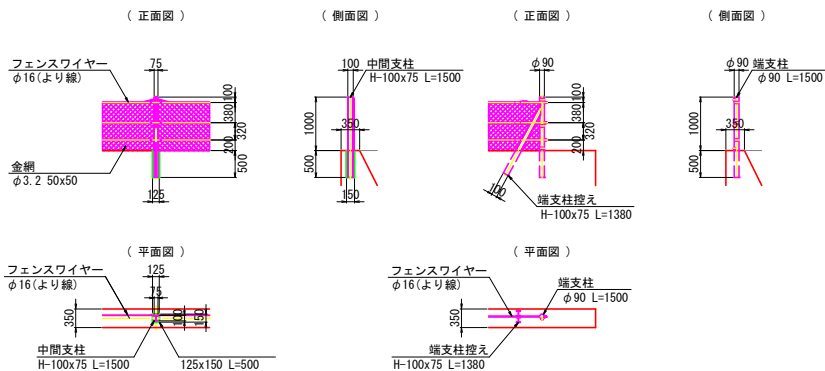
断面図 S=1:100

【 No. 1, 2 】 H=1.000m
【 No. 3, 4 】 H=2.000m
【 No. 5, 6 】 H=2.500m
【 No. 7~11 】 H=3.000m
【 No. 12, 13 】 H=1.500m



落石防護柵図 S=1:50

【 中間支柱 】 【 端部支柱 】



擁壁諸元

位 置	北海道網走市
路 線 名	山下通線15
擁 壁 延 長	L=147.500 m
擁 壁 高	H=1.000 m ~ H=3.000 m
擁 壁 工 形 式	重力式擁壁
基 礎 工 形 式	—
完 成 年 月	1960年12月

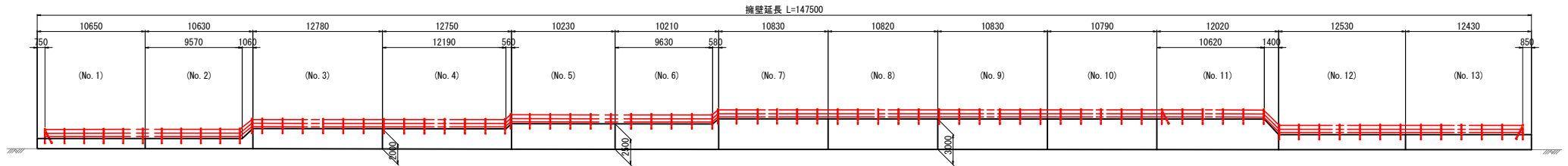
特記事項
1. 既設橋梁の寸法は、既存資料及び現地調査を基にしているが、
施工に先立ち、現地実測・調査の上、各形状・寸法等を確認
すること。

年 度	令和4年度
路 線 名	山下通線
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図 面 名	擁壁工一般図
縮 尺	図示 図面番号 業の内号
設計年月	令和4年10月
設 計 者	バーム測量設計株式会社
	網走市役所

擁壁工補修図(1)

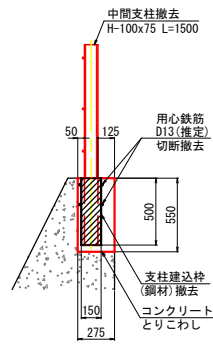
(補修工法詳細)

配置図 S=1:200

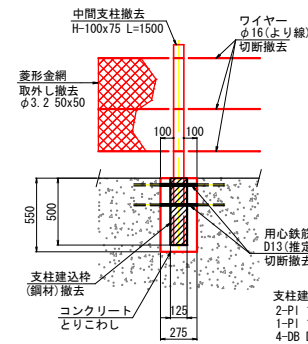


落石防護支柱撤去要領

断面図 S=1:20 (中間部)



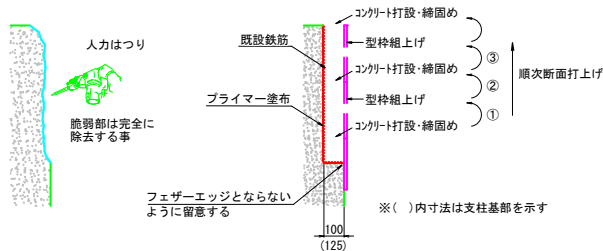
正面図 S=1:20 (中間部)



注) 復旧は断面修復工を参考のこと
注) コンクリート内の用心鉄筋は推定を示している
注) 支柱建込枠の鋼板は約4.5mmとして数量を計上

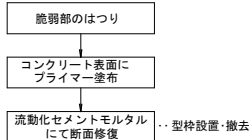
- 注意事項
1. 施工時には再調査を行い損傷箇所の進行や範囲
新たな損傷箇所がないか確認すること。
 2. 補修工法や材料は製品毎に仕様や施工手順が
異なるため確認の上使用する事。
 3. 詳細は現地再検測のうえ決定のこと。

断面修復工詳細図 Rc-4 (流動化セメントモルタル)

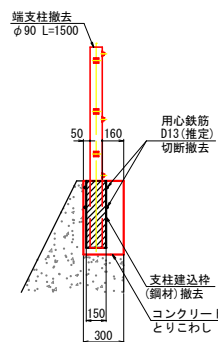


- 注) ・図は凡例を示すものであり打設回数等は現場にて検討の事。
・脆弱部は完全に除去する事。
・モルタル注入時には表面を十分な潤滑状態とすること。
・打継目がコールドジョイントとならないよう硬化前に順次断面を打上げること。
・はつり深さは100mm (125mm) と想定しているが、施工時には劣化部を再度確認し深さを決定する事。

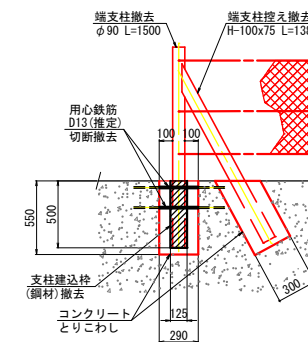
【施工手順の参考】



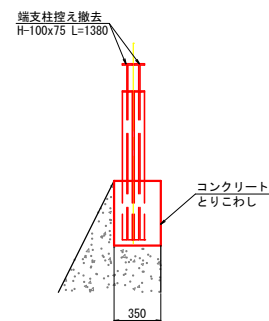
断面図 S=1:20 (端部)



正面図 S=1:20 (端部)



A~矢視 S=1:20

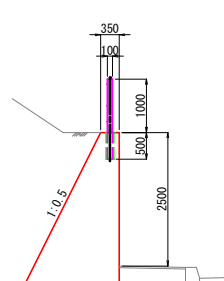


年度	令和4年度
路線名	山下通線
工事名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図面名	擁壁工補修図(1)
縮尺	図示 図面番号 12葉の内 6号
設計年月	令和4年 10月
設計者	バーム測量設計株式会社
網走市役所	

擁壁工損傷図(2)

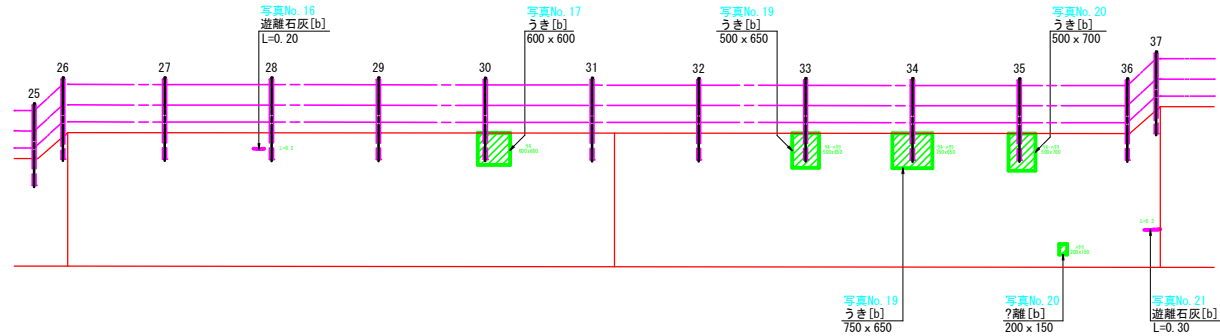
断面图 $S=1:50$

(No. 5, 6)

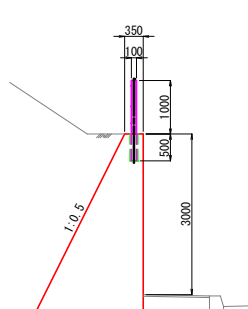


正面图 S=1:50

(No. 5, 6)

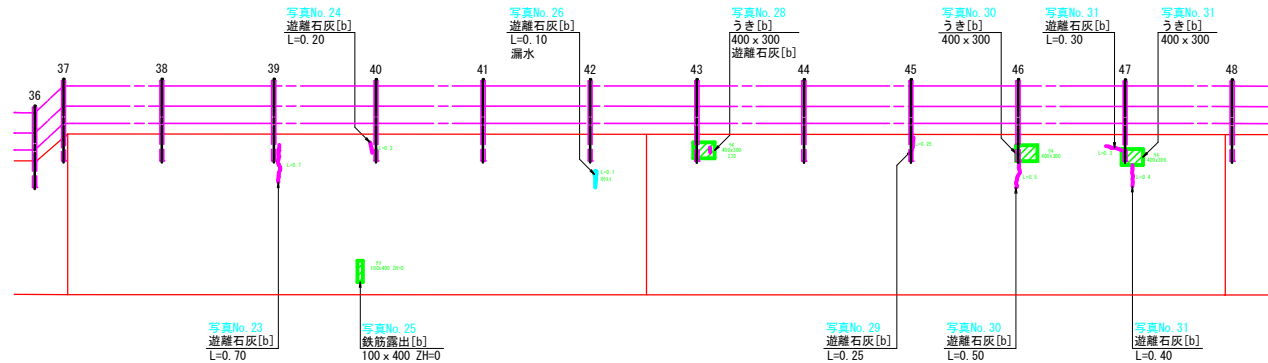
断面图 $S=1:50$

(No. 7, 8)



正面图 S=1:50

(No. 7, 8)



損傷表記凡例

	損傷の輪郭(矩形)
	損傷の輪郭(線状)
	損傷の領域 ※
W = L =	W:幅(mm)L:長さ(m)

- ※領域表示は損傷別に適宜使い分け
- ※損傷規模により明示に難があるため
標示方法を定型化していない
- ※ひび割れは $W=0.20\text{mm}$ 以上を対象に
幅及び長さを図示

特記事項

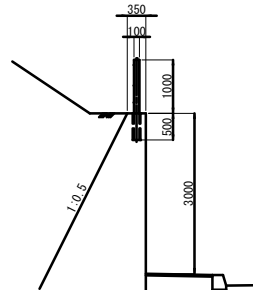
1. 既設橋梁の寸法は、既存資料及び現地調査を基にしているが、施工に先立ち、現地実測・調査の上、各形状・寸法等を確認すること。

年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	擁壁工構図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	12葉の内 3号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	綱 走 市 役 所		

擁壁工損傷図(3)

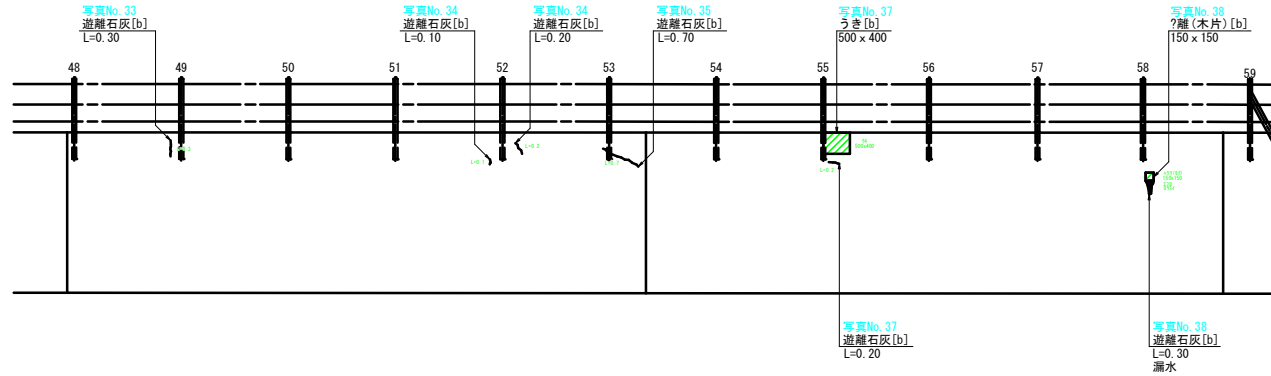
断面図 S=1:50

(No. 9, 10)



正面図 S=1:50

(No. 9, 10)



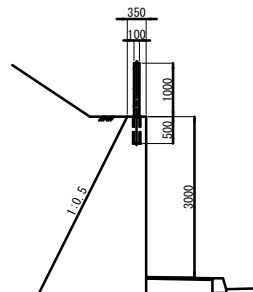
損傷表記凡例

	損傷の輪郭(矩形)
	損傷の輪郭(線状)
	損傷の領域 ※
W = L =	W:幅(mm) L:長さ(m)

※領域表示は損傷別に適宜使い分け
※損傷規模により明示に難いがあるため
標示方法を定型化していない
※ひび割れはW=0.20mm以上を対象に
幅及び長さを図示

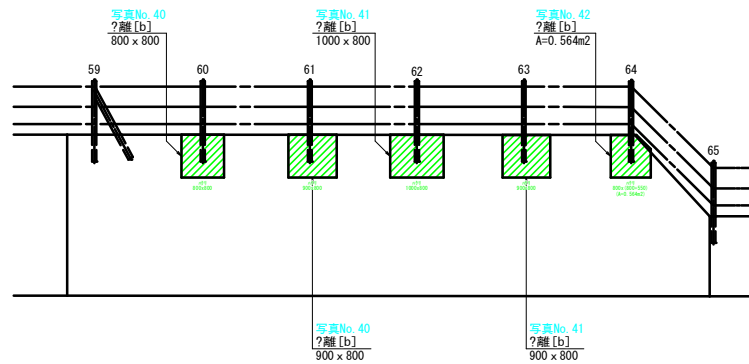
断面図 S=1:50

(No. 11)



正面図 S=1:50

(No. 11)



特記事項

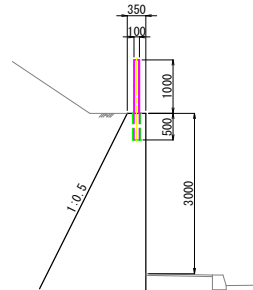
1. 既設橋梁の寸法は、既存資料及び現地調査を基にしているが、
施工に先立ち、現地実測・調査の上、各形状・寸法等を確認
すること。

年 度	令 和 4 年 度
路 線 名	山下通線
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図 面 名	擁壁工損傷図(3)
縮 尺	図 示 図面番号 12葉の内 4号
設計年月	令和 4 年 10 月
設 計 者	バーム測量設計株式会社
網 走 市 役 所	

擁壁工補修図(4)

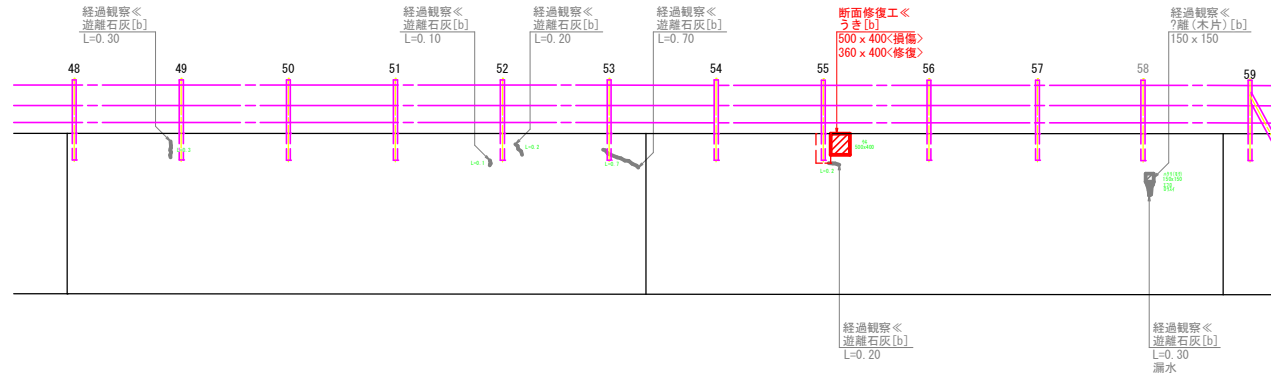
断面図 S=1:50

(No. 9, 10)



正面図 S=1:50

(No. 9, 10)

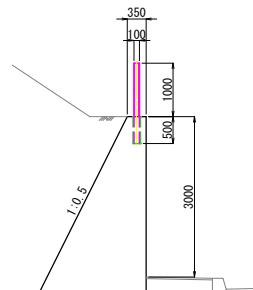


損傷表記凡例	
	損傷の輪郭(矩形)
	損傷の輪郭(線状)
	損傷の領域 ※
W = L =	W:幅(mm)L:長さ(m)

※領域表示は損傷別に適宜使い分け
※損傷規模により明示に難い場合
※ひび割れはW=0.20mm以上を対象に
幅及び長さを図示

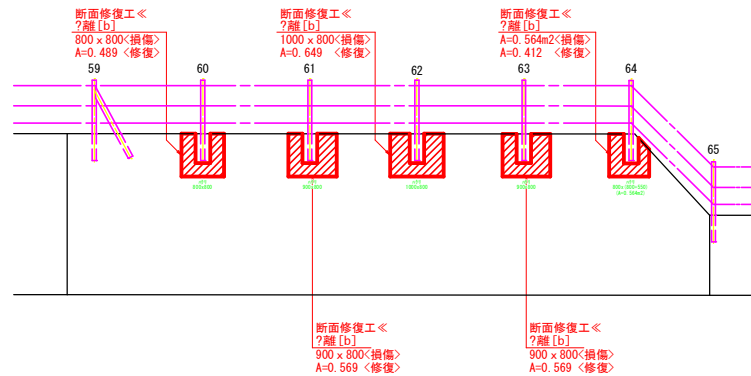
断面図 S=1:50

(No. 11)



正面図 S=1:50

(No. 11)



- 注意事項
1. 施工時には再調査を行い損傷箇所の進行や範囲
新たな損傷箇所がないか確認すること。
 2. 補修工法や材料は製品毎に仕様や施工手順が
異なるため確認の上使用する事。
 3. 詳細は現地再検査のうえ決定のこと。

年 度	令 和 4 年 度
路 線 名	山下通線
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図 面 名	擁壁工補修図(4)
縮 尺	図 示 図面番号 12葉の内 9号
設計年月	令和 4 年 10 月
設 計 者	バーム測量設計株式会社
	網 走 市 役 所

擁壁工補修図(5)

損傷表記凡例

	損傷の輪郭(矩形)
	損傷の輪郭(線状)
	損傷の領域 ※
W = L =	W:幅(mm) L:長さ(m)

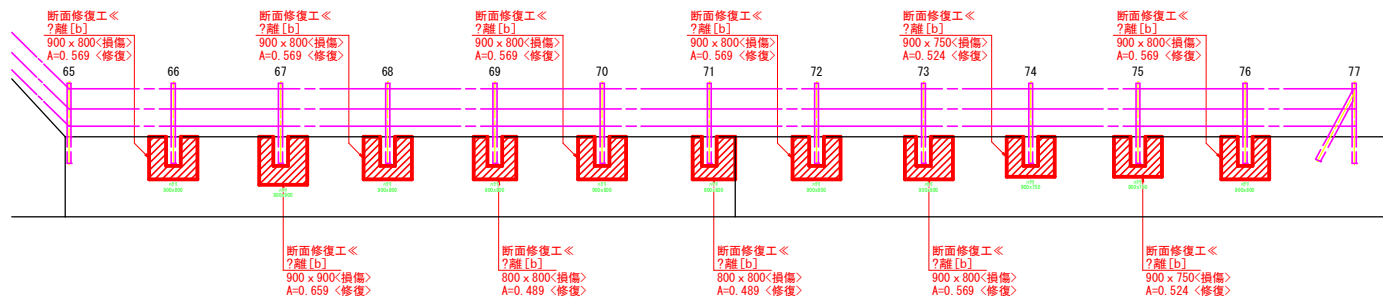
※領域表示は損傷別に適宜使い分け

※損傷規模により明示に難があるため
標示方法を定型化していない

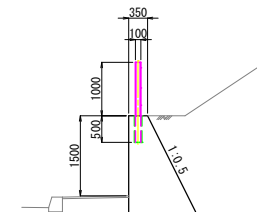
※ひび割れは $W=0.20\text{mm}$ 以上を対象に
幅及び長さを図示

正 面 图 S=1:50

(No. 12)

断面図 $S=1:50$

(No. 12)



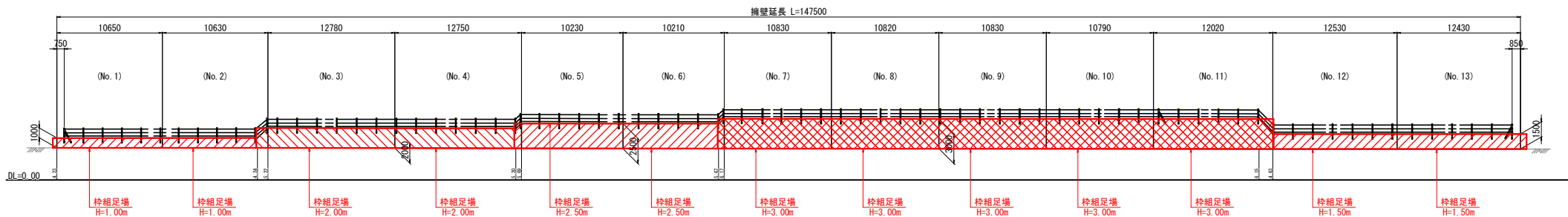
注意事項

1. 施工時には再調査を行い損傷箇所の進行や範囲新たな損傷箇所がないか確認すること。
2. 補修工法や材料は製品毎に仕様や施工手順が異なるため確認の上使用する事。
3. 詳細は現地再検測のうえ決定のこと。

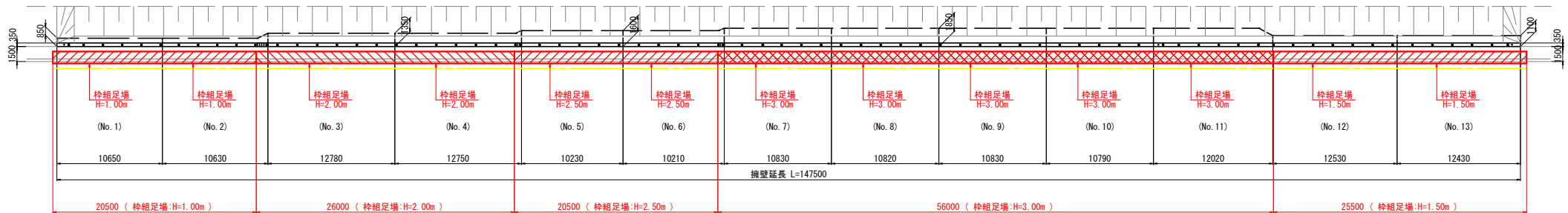
年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	擁壁工修補図(5)		
縮 尺	図 示	図面番号	12葉の内10号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
綱 走 市 役 所			

仮設工参考図

正面図 S=1:200

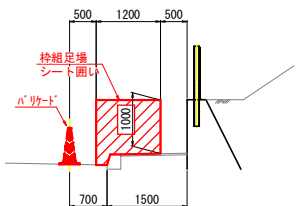


平面図 S=1:200

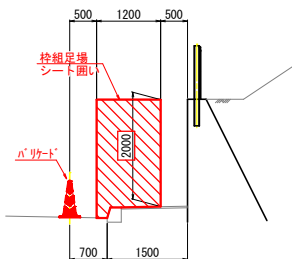


断面図 S=1:50

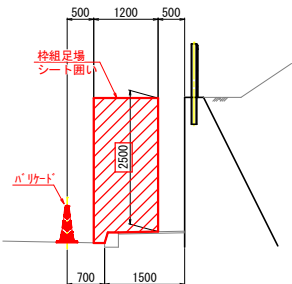
【 No. 1, 2 】
H=1.00m



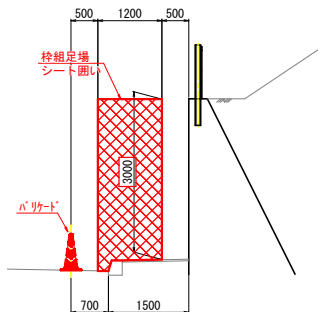
【 No. 3, 4 】
H=2.00m



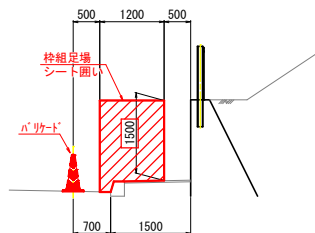
【 No. 5, 6 】
H=2.50m



【 No. 7～11 】
H=3.00m



【 No. 12, 13 】
H=1.50m



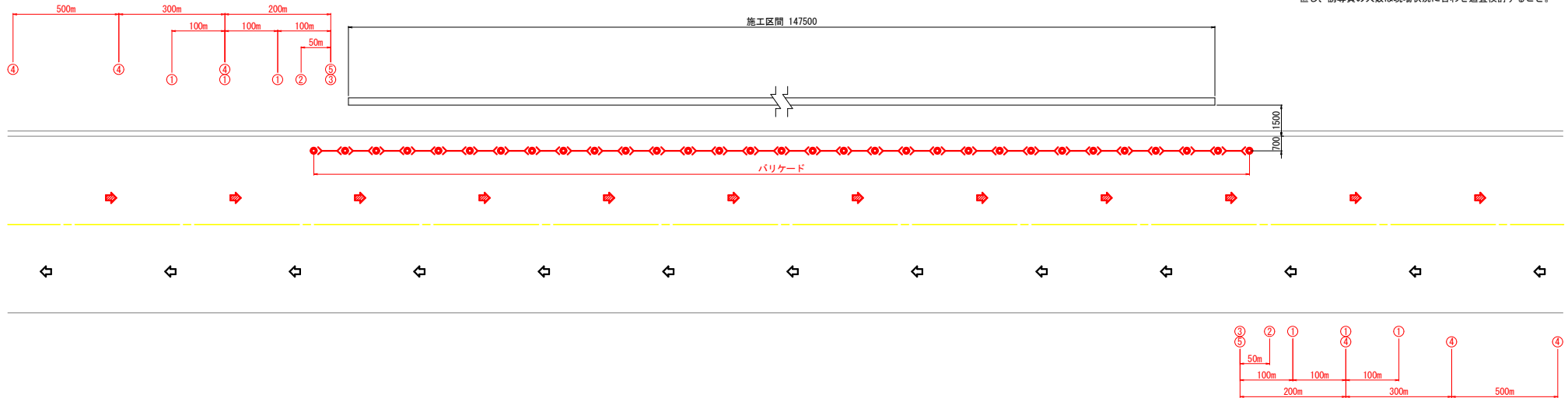
特記事項

1. 当図は現存資料、過年度調査結果および現地簡易計測を参考に作成している。
2. 図に示す足場及び仮設工設備は参考であり工事の際には適宜詳細を検討すること。
3. 各部の詳細は現地再検測のうえ、決定のこと。
4. 環境保全のため工事に伴う土の飛散を防ぐよう配慮すること。
5. 補修工事が冬期施工となる場合は、防寒養生等を行い温度管理に十分配慮すること。
6. 工事に伴う用地や樹木の伐採、移設物などが生じる場合は関係機関と事前に協議を行うこと。
7. 上記特記事項等に伴い、設計の変更が生じる場合は事前に監督員と協議を行い承諾を得ること。

年 度	令 和 4 年 度
路 線 名	山下通線
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図 面 名	仮 設 工 参 考 図
縮 尺	図 示 図面番号 12葉の内11号
設計年月	令 和 4 年 10 月
設 計 者	バーム測量設計株式会社
網 走 市 役 所	

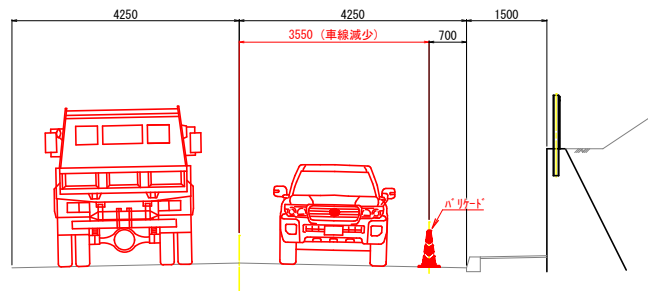
交通規制図

平面図 S=1:100

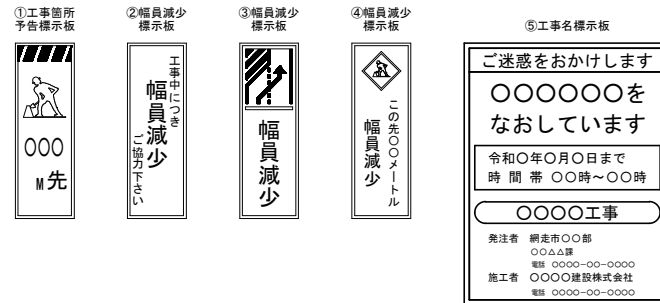


注) 作業箇所にはセーフティコーンを設置するものとする。
注) 交通を一時遮断しなければならないときは所定の手続きを行うとともに片側車線づつの作業とし、交通誘導員を2名配置し通行車両の整理・誘導を行う。
但し、誘導員の人数は現場状況に合わせ適宜検討すること。

断面図 S=1:50



標示施設参考図



特記事項
1. 本図は参考であり、詳細は工事工程に基づき現地確認のうえ、監督員と協議決定のこと。

年 度	令和4年度
路 線 名	山下通線
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図 面 名	交通規制図
縮 尺	図 示 図面番号 12葉の内12号
設計年月	令和4年10月
設 計 者	バーム測量設計株式会社
	網 走 市 役 所

平面図

S=1:500

網走市字天都山

84-1
上田 信

82-2
上田常夫

令和4年度調査起点
BP=3202.83

H=4.237
隔壁角

1003-2 82-4
地籍多角点 建設省

令和4年度調査終点
EP=3349.00

点 名	東経	北経
G3021003-1	1654.717	-470.692
G3021003-2	1616.448	-574.276
G3021003-3	1578.986	-677.387
G3021003-5	1530.206	-784.391
TP1	1499.434	-878.133

曲線表

IPNO	BP	IPNO 9(R)	EP
1A	13-16-23		
R	300		
TL	34.906		
CL	69.498		
SL	2.024		
Dis	P=3202.83	P=3349.00	
BC	3211.925		
EC	3281.423		
X	1640.430	1693.838	1557.401
Y	-533.948	-565.576	-653.627

詳細図

S=1:250

年 度	令 和 4 年 度
路 線 名	山下通線
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託
図 面 名	平面図
縮 尺	図 示 図面番号 葉の内 号
設計年月	令 和 4 年 10 月
設 計 者	バーム測量設計株式会社
	網 走 市 役 所

年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	横 断 図 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	葉の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		

3220R4.0

図-2 第 1 図

DL=0.00

DL=0.00

DL=0.00

3210R4.0

図-2 第 2 図

DL=0.00

DL=0.00

DL=0.00

3202.83R4.0

図-2 第 3 図

DL=0.00

DL=0.00

DL=0.00

年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	横 断 図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	業の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		

3250R3.5

BR=2.88

FR=

DL=0.00

DL=0.00

3240R4.0

BR=2.88

FR=

DL=0.00

DL=0.00

3230R4.0

BR=2.88

FR=

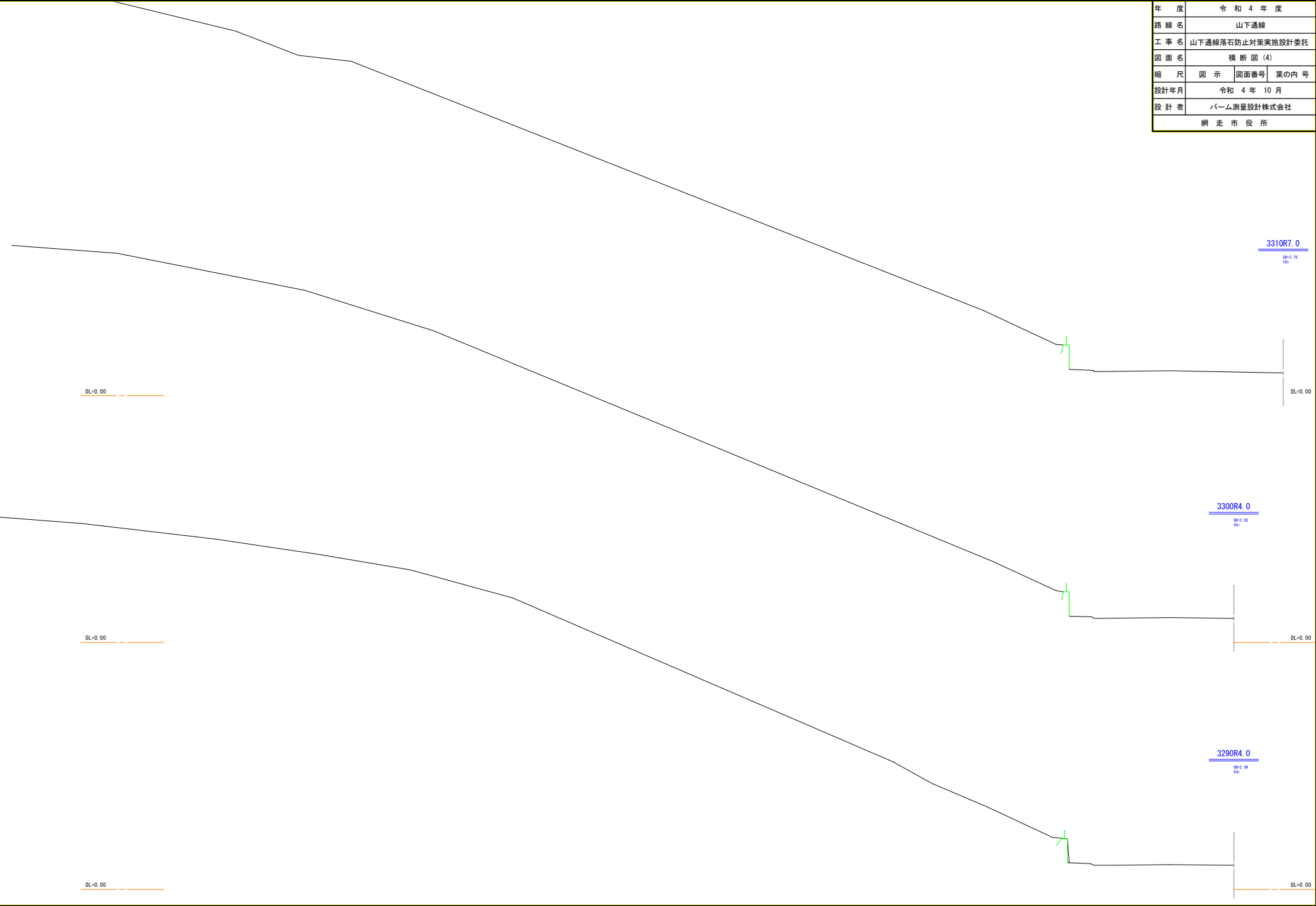
DL=0.00

DL=0.00

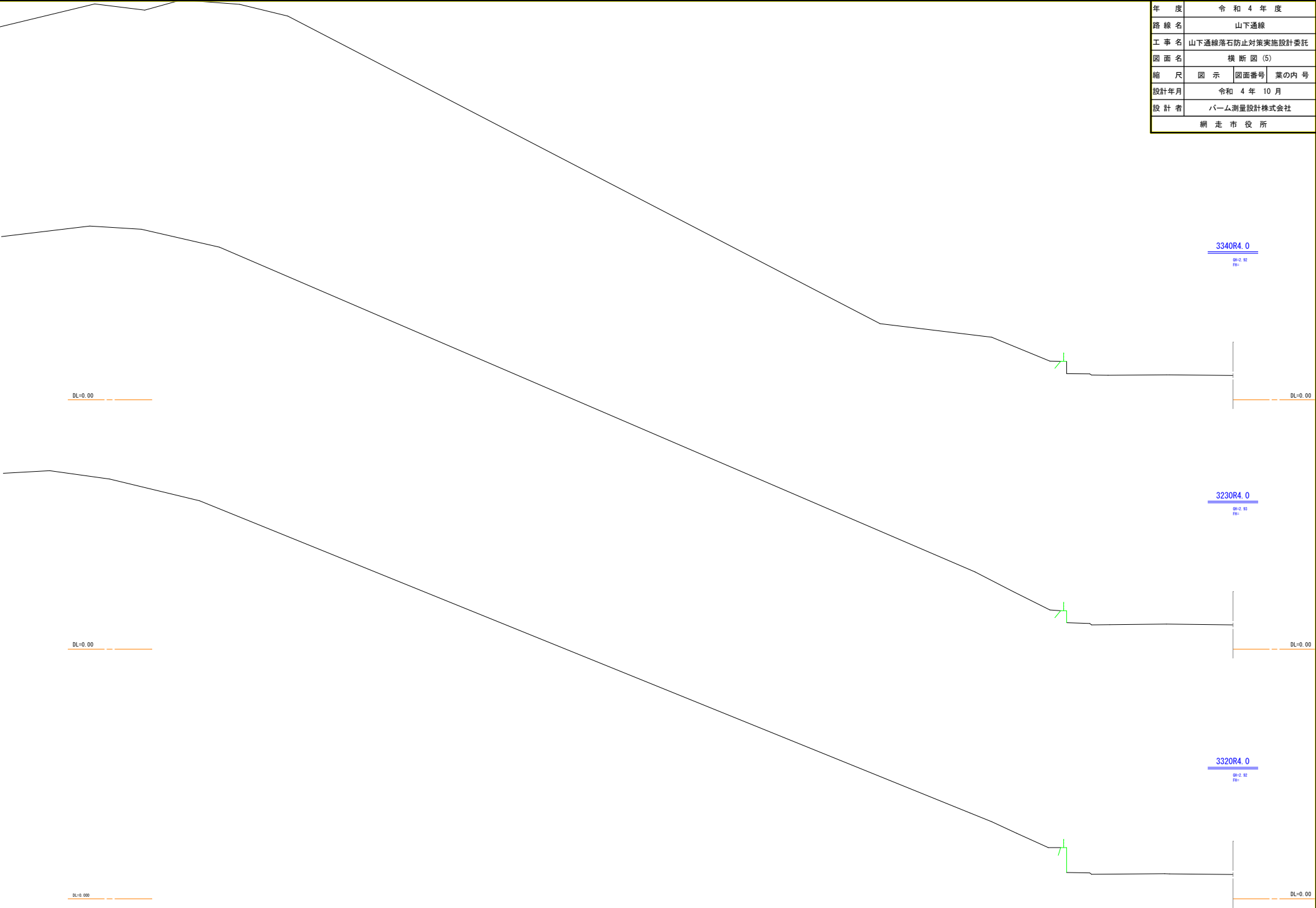
年 度	令和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	横 断 図 (3)		
縮 尺	図 示	図面番号	葉の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		



年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	横 断 図 (4)		
縮 尺	図 示	図面番号	業の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		



年 度	令 和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	横 断 図 (5)		
縮 尺	図 示	図面番号	業の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		



年 度	令和 4 年 度		
路 線 名	山下通線		
工 事 名	山下通線落石防止対策実施設計委託		
図 面 名	横 断 図 (6)		
縮 尺	図 示	図面番号	葉の内 号
設計年月	令和 4 年 10 月		
設 計 者	バーム測量設計株式会社		
	網 走 市 役 所		

